

昼寝をし、夜眠る、

晝

ひる

は

眠

ねむ

り

夕

よる

は

寐

い

ぬ、

夕

寐

晝

眠

青い若竹で作ったむしろを敷物としたり、象牙で飾った寝台で眠る。



らん



じゅん

と



ぞう



しょう

あり。



覃

陽

● 真

弦楽器に合わせて歌をうたい、酒宴を開く時は、

弦

げん

歌

か

し

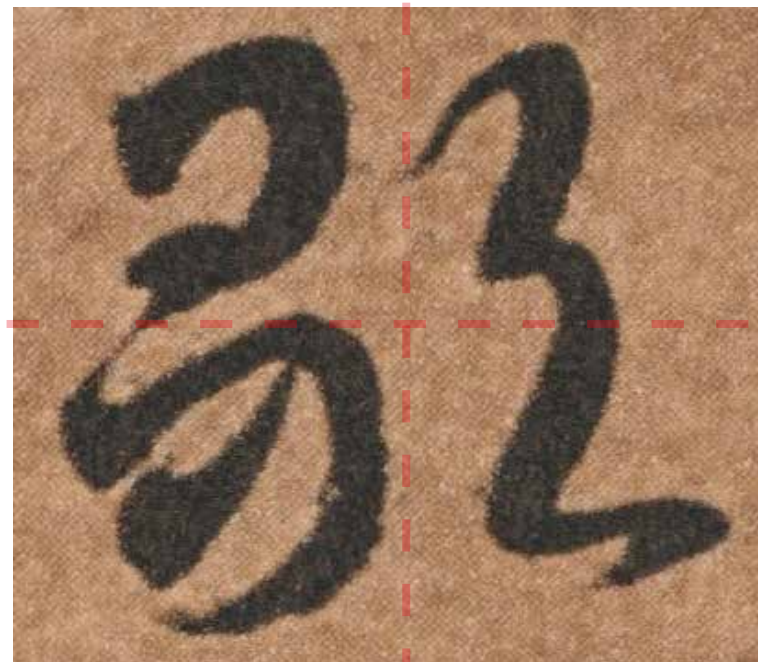
酒

しゅ

宴

えん

す、



先

歌

杯をまじえ、酒を注いだ杯を挙げたりして楽しむ。

杯

はい

を

接

まじ

へ

酒

しゅう

を

挙

あ

ぐ。



陽

灰

手を上げ足を踏んで踊れば、

手

て

を

矯

あ

げ

足

あし

を

踊

ふ

む、



心は楽しくもあり安らかになる。

悦

えつ

予

よ

して

且

か

つ

康

やす

し。

且

康

悦

予

●魚

陽

●魚

長男としてその家の子孫たる者は、
代々血統を絶やさぬようにつとめ、

嫡

てき

後

こう

は

嗣

し

續

ぞく

し、

嗣

嫡

續

後

四季ごとの祖先のまつりを催行しなければならない。
（春は祠、夏は禱、秋は嘗、冬は烝。）

祭

祀

蒸

嘗

す。

さい

し

じょう

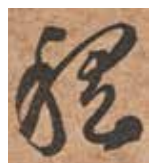
しょう



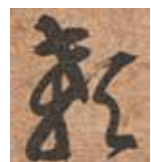
蒸

陽

祭祀では額を地につけて二度深く礼拝し、



けい



そう



さい



はい

し、



齊●

祖先をおそれ、かしこみ敬い、拝む。

悚

しろう

懼

く

恐

きよう

惶

こう

す。

